

[様式14-表]

【海外】転学奨学金継続願

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり転学しましたので、引続き奨学金貸与の継続をお願いします。また、卒業期が延びる場合には、返還総額が増すことを理解したうえで、独立行政法人日本学生支援機構学資金の貸与期間(終期)を下記のとおり延長することを願います。

なお、返還誓約書(兼個人情報情報の取扱いに関する同意書)で確認し、誓約した内容に加えて、貸与期間(終期)の延長に係る一切の債務に関しても、確認書並びに返還誓約書(兼個人情報情報の取扱いに関する同意書)及び日本学生支援機構諸規定に定める取扱いに従うことを誓約します。

■奨学生本人欄 ※氏名は自署が必要です。原本を郵送にて提出してください。

記入日	(西暦)	年	月	日	生年月日	(西暦)	年	月	日	(満 歳)
奨 学 生 番 号					フリガナ					
		0			氏名	(自署)				
学校名						学部・研究科名				

■願出の内容

(1) 学校名等

従前の在籍学校				転学後の在籍学校			
学校名				学校名			
学部・課程、学科名				学部・課程、学科名			
国・地域名				国・地域名			
最終在籍年月	年	月	退学／卒業・修了(該当に○)	転入学年月	年	月	より在籍
				卒業(修了)予定年月	年	月	卒業予定
「奨学金貸与月額変更願(届)」の提出の有無				転学後の卒業予定年月			
<input type="checkbox"/> 提出しない ※転学奨学金継続の手続きに併せて貸与月額の変更を希望する場合は、 <input type="checkbox"/> 提出する 「【海外】貸与月額変更願」を同時に提出してください。				<input type="checkbox"/> 在籍証明書に記載の卒業予定期を記入した。 <input type="checkbox"/> 学校担当者と相談の上、卒業予定期を記入した。			

(2) 借用金額

※転学により卒業延期となり貸与期間が延長したり、貸与月額を増額する等、借用金額が増加する場合は記入してください。

借用金額(予定)									円
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	---

※借用金額の増加に伴い保証料月額が変更となります。

※「借用金額」は、転学に予定していた借用金額と、転学により貸与期間を延長することで貸与される金額の合計金額を右詰めで記入してください。採用時に入学時特別増額貸与奨学金を貸与している場合は、当該金額を含めて記入してください(裏面「借用金額の記入例」参照)。
 ※借用金額を誤って記入した場合は、裏面「借用金額の訂正方法」に従って訂正してください。

た情務利
め報委用
ごにの託目
記照う先の
入会ちに
のいが保
必適た
があ証要
正だっ
管に
ない
た理
応範
た場
にじ
情合
必て
内報
は要
提
に及
、な
供お
び
適情
さい
あ
正報
れて
な
がま
、た
範保
す当
の
困証
が該
奨
内機
、情
学
に
関
そ
報
金
おに
のへ
に
提他
奨
関
て
供の
学
す
あ
さ
目
金
る
な
れ
的
の
情
報
の
す
は
選
は
情
。利
状
、
奨
報
ま
た
さ
に
学
提
、
れ
開
金
貸
行
ま
す
政
せ
る
与
れ
機
ん
情
業
ま
関
。報
務
す
。び
関
含
返
公
保
む
還
益
証
一
業
法
加
が
、
を
等
者
学
含
か
に
校
む
ら
つ
、
奨
い
金
の
学
で
融
た
金
は
機
め
の
、
関
に
重
複
機
構
文
用
さ
受
が
部
さ
れ
の
有
学
ま
防
す
止
る
及
。等
個
び
こ
の
人
業
の

■連帯保証人・保証人記入欄

私は、上記の貸与月額の増額を承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、奨学金の返還の完了まで本人と連帯して保証し、関係法令及び返還誓約書等にしがって債務履行の責を負います。

住所 〒 _____ 電話番号 () _____
 氏名 (自署) _____ 生年月日 (西暦) 年 月 日

私は、上記の貸与月額の増額を承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、本人が返還すべき返還未済額の3分の1を保証し、関係法令及び返還誓約書等にしがって債務履行の責を負います。

住所 〒 _____ 電話番号 () _____
 氏名 (自署) _____ 生年月日 (西暦) 年 月 日

(注) 連帯保証人・保証人それぞれの自署と実印での押印、及び添付書類として印鑑登録証明書(各1通)の添付が必要です。機構届出の連帯保証人又は保証人が債務整理(破産等)中の場合は、本願提出前に「連帯保証人・保証人変更届」を提出してください。

■親権者又は未成年後見人欄

(本人が未成年者(18歳未満)の場合のみ記入)

上記の者が現在貸与を受けている奨学金について本申請を行うことに同意します。
 本人が未成年者(18歳未満)の場合は親権者の同意を得てから親権者欄に記入してください。後見人がいる場合は同じく後見人の同意を得た上で記入してください。

親権者又は未成年後見人	(親権者1又は未成年後見人)	住所 〒 _____	電話番号 () _____
		氏名 (自署) _____	
	(親権者2)	住所 〒 _____	電話番号 () _____
		氏名 (自署) _____	

[様式14-裏]

重 要

従前の学校の最終在籍年月をもって奨学金を「休止」する必要があります。従前の学校を退学する月の前月10日までに異動願(休止)を提出してください。転学先の学校で引き続き奨学金を貸与するためには、従前の学校の退学月から1年以内に転学し、本様式及び添付書類を転学後3か月以内に提出してください。承認されると転学した月に遡って貸与奨学金の振込が再開します。

添付書類

- 従前の学校の最終在籍年月が確認できる卒業・修了証明書又は成績証明書(日本語訳添付)
- 次の(a)~(c)の内容が記載された、転学先学校の在籍証明書(日本語訳添付)
 - (a) 転学年月日
 - (b) 取得できる学位
 - (c) 卒業予定年月
- 単位移行が確認できる、転学先学校の履修・成績証明書(日本語訳添付)
※在籍証明書に「〇〇大学からの転学生である」旨の一文がある場合は、単位移行証明書の提出は不要です。
- 従前の学校と転学先学校のアカデミックカレンダー(従前の学校は最終試験/授業月に、転学先学校は学期開始月と最終試験/授業月にそれぞれ日本語訳を添付)
- 【借用金額が増加する場合のみ】連帯保証人の印鑑登録証明書(原本)
- 【借用金額が増加する場合のみ】保証人の印鑑登録証明書(原本)

提出期限

- 転学日から3か月以内(転学前には提出できません)
※3か月以上経過して提出する場合は、提出遅延の理由を記した事情書(書式任意)の添付が必要。

借用金額の記入例

例) 当初の貸与期間(予定) : 2024年4月~2028年3月(48か月)
当初の借用金額(予定) : 増額 300,000円+ (月額 50,000円×48か月) = 2,700,000円

* 2026年3月にA大学を退学(貸与奨学金は休止)。2026年10月にB大学へ転学、卒業が2029年9月に延期
A大学での貸与期間 : 2024年4月~2026年3月(24か月)
A大学での貸与月額 : 5万円
B大学での貸与期間 : 2026年10月~2029年9月(36か月)
B大学での貸与月額 : 10万円(貸与月額を増額)

【計算式】

- ① 入学時特別増額貸与奨学金 : 300,000円
② A大学での借用金額(2024年4月~2026年3月) : 50,000円×24か月 = 1,200,000円
③ B大学での借用金額(2026年10月~2029年9月) : 100,000円×36か月 = 3,600,000円

①~③の合計 5,100,000円

※ A大学を退学した翌月からB大学に転学するまでの期間(2026年4月~2026年9月)は、奨学金の貸与を受けることができません(振込を休止します)。合計金額に含めないようご注意ください。

借用金額の訂正方法

「借用金額」を誤って記入した場合は、次のとおり訂正してください。

- ① 本人署名横に本人印を押印する。

フリガナ	キコウ タロウ
氏名 (自署)	機構 太郎 (奨学)

- ② 金額全体(1円の単位までのすべての数字)を二重線で消す。一部訂正不可。

借用金額 (予定)	4 2 0 0 0 0 0 0 円
--------------	------------------------------

- ③ 二重線の上から、本人印(本人署名横同一印)、連帯保証人実印、保証人実印を訂正印として押す。
※それぞれの印が重ならないように押印してください。

借用金額 (予定)	4 2 0 0 0 0 0 0 円
	本人 連帯保証人 保証人

- ④ 余白に正しい借用金額を記入する。

借用金額 (予定)	5 1 0 0 0 0 0 0 円
	本人 連帯保証人 保証人